

進路だより

第3号 令和6年12月20日
東京都立府中けやきの森学園校長
相賀 直
進路部 担当 山市 吉澤

師走の声を聞くとともに、寒さも増してきました。今年は各種行事を通して躍進する面や、日頃の小さな積み重ねで成果をあげていく面など、成長の様子も様々あります。そして、児童・生徒のみなさんが自分でその成果を感じられることが、何より大切なことであり、次のステップに進み続ける力の源でもあります。

進路だより第3号では、各学部の進路の取り組みを紹介いたします。「自分で成長を感じる」場面を探しながら読み進めると、他学部の紹介内容もまた違った発見があるのではないのでしょうか。学年を追うごとに変わっていく取り組み方の違いにも、是非ご注目ください。

各学部の進路の取り組み

小学部

A部門小学部

入学したばかりの1年生は、まだまだ体力もなく疲れて眠ってしまうこともあります。初めましての先生との関係作りや新しい授業、初めての活動にチャレンジする経験や一人でできた経験を積み重ねるうちに、どんどん積極的に取り組む姿が見られるようになりました。小さな「伝わった」や「できた」の経験を重ねて大きく成長し、6年生になると堂々とした上級生の姿になっています。将来の自立のために、「伝わった」「できた」という成功体験の積み重ねを大事にしています。

B部門小学部

小学部の大きな柱となる「日常生活の指導」では、特に低学年で着替えや排せつ、食事といった場面で新しく「できる」ようになることが多いです。この「できる」ようになったことを、クラスが替わったり担任が代わったりという6年間の道を進んでいく中で、相手や環境に左右されずに「できる」ようになっていくことが重要だと考えています。卒業後に求められるのは、いつでも、どこでも、誰とでも（一人でも）安定して力を発揮できる力です。何事も100%自分でやりきるというより、支援が必要であっても大丈夫。困ったときは助けを求めながら、「自分でやろう」とする前向きな気持ちを育てていくのが小学部での様々な学習です。

中学部

A部門中学部

日常生活では、小学部で培った力を土台として、できることを増やし、他者とのかかわり方を学んでいます。授業では、府中二中との学校交流で渡されたデザインを使ったファイル作りなど、与えられた役割を果たす活動を行っています。

今年度の進路学習としては、遠隔社会見学やオンライン職場見学会などを実施しました。中学部3年生は、大学の障害者雇用推進室での作業体験や事業所をグループに分かれて見学しました。また、A部門高等部も全員で見学して、「なりたい自分」を見つける良い機会になりました。

このように中学部では、将来を見据えた日々の積み重ねを大切にしています。

B部門中学部

今年度は1学期のうちに、3年生はB部門高等部作業学習の見学・体験を、1・2年生はキッザニアで仕事体験を、それぞれ行いました。そして、学部全体の報告会で、お互いの体験や感想を分かち合うことで、自分たちに大切なことを共有し、学びの効果を倍増させています。

また、学期ごとに「進路学習」の時間を設け、働くとはどういうことかについて学習しました。将来の楽しみのために「働く」ことについて考える機会となっています。また、「挨拶」や「廊下は歩く」など学校生活上のルールやマナーについて確認し、生徒たちは大人になることは今現在の延長線上にあることを、日々感じながら成長しています。

高等部

A部門高等部

<1年生> 1年生は「知る」をテーマに進路指導を行いました。夏季休業中を活用し、進路見学を実施しました。各事業所の支援理念を伺ったり、活動している様子を見学したりすることができました。どのような進路選択があるかを「知る」ことで、今後の進路選択につなげる機会とし、各御家庭でも様々な事業所へ見学に行ってください、進路選択・決定に向けて一人一人に合ったペースで進めていければと思います。

また、学校生活や御家庭での様子等をとおして、進路に向けて身に付ける力や、課題についても「知る」ことが大切です。卒業後の進路は、非常に重要な選択となりますので、各御家庭と情報共有し、将来について一緒に考えて進路指導していきます。

<2年生> 2年生のテーマは「経験する」です。1学期に就業体験に参加したり、2学期には現場実習を行ったりしました。それぞれが自分の目指す進路決定に向けて、実際に経験し、考え、進むことができました。

2学期の現場実習では、普段とは異なる環境の中でも、自分の力を発揮することができていました。普段かかわる人以外とでも、自分の意思を伝えながら楽しく活動に参加したり、働く楽しさを感じたりすることができました。自分の強みを再確認することができたと同時に、新たな課題も発見できる体験となったと思います。今後も卒業後に向けて、御家庭とも連携しながら充実した進路指導に取り組んで参ります。

<3年生> 進路指導における「決定する」というテーマは、3年生にとって非常に重要となります。福祉的就労、企業就労、大学進学など様々な進路先から自分自身の希望や能力、興味、生活に合った進路を選ぶことは、今後の人生に大きくつながっていきます。これまでの経験を振り返り、自分の強みを再確認することが大切です。自己分析を行い、自分の得意なことや好きなこと、将来どのように社会に貢献したいかを考える時間も必要です。進路決定にあたっては、本人の願い、家族の意見や期待も大切にし家族とのコミュニケーションを通じて、進路の選択肢について話し合い、それぞれの希望を理解し合うことで、より良い決定ができるでしょう。

今後は、個別移行支援計画等を通じて、進路先へのスムーズな移行を目指し、具体的な支援を進めていく予定です。進路を選ぶことは大きな一歩ですが、学校、家庭、地域が連携しながら、本人が自分の未来を切り開いていく力を育てていければと思います。



B部門高等部

<1年生> 高等部1年生の進路指導におけるテーマは「知る」ことです。日々の学校生活の様々な活動の中で「できること」「できないこと」「得意なこと」「苦手なこと」など自分自身について知ることによってどういった環境だと将来の生活が安定するのかイメージしてきました。また、実際に進路行事として9月に進路見学、10月に校内実習を実施し、1月に就業体験を実施予定です。進路見学では、地域の福祉事業所や企業を訪問し実際に働く現場を見ることで、働くことをより具体的に考えることができました。校内実習では福祉事業所や企業から仕事をいただき、受注作業を行う中で仕事に対しての責任感や達成感を味わうことができました。1月の、就業体験では、実際に仕事をする現場に出向いて働く体験をします。学校とは違う職場の雰囲気を感じ、多くのことを学べます。

一つ一つの進路行事を体験する中で、得たものを今後の進路選択・決定につなげていきます。



< 2年生 > 2年生の進路指導は「経験する」がテーマです。就業体験を経て、現場実習では1人で3日間～5日間働く経験をしました。それぞれが目標を立てて挑戦する中で、働く楽しさや大変さ、厳しさ、喜びなどを感じ取ることができる貴重な機会となりました。2年生の現場実習を「経験する」ことで、卒業後に向けた課題を見付けることができます。その課題を克服することを目標に、一日一日を大事にして日々の学校生活を充実させていきます。

今後も御家庭と連携し、これらの力を身に付けられるよう引き続き指導していき、より良い進路決定に向けて取り組んで参ります。

< 3年生 >

I期、II期の現場実習を終え、進路先を決定する時期になりました。現場実習では自分の目標を達成するために、本人はもちろん御家庭も一丸となって取り組んでいただきました。進路面談では、進路先の希望を絞り込むと同時に、卒業後の生活は、どのようになるのか、どのような支援があるのか等、より豊かな生活を送るために本人や御家庭と話をしてきました。その中で生徒自身が卒業後の目標を自ら考え伝える頼もしい場面もありました。残りの学校生活では、高等部生活の総まとめとしてそれぞれの目標と向き合いながら成長し、その力を卒業後の生活で発揮できるよう指導していきます。

